

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所

NISE

National Institute of Special Needs Education



独立行政法人国立特別支援教育総合研究所(NISE)は、我が国唯一の特別支援教育のナショナルセンターとして、障害のある子どもと障害のない子どもが共に学ぶことを目指したインクルーシブ教育システムの構築に向けて、特別支援教育に関する研究活動や研修事業、情報普及活動等を推進していきます。



令和4年度

理事長あいさつ

今年度は、第5期中期目標期間の2年目です。研究所では、令和4年度計画に基づき、各種事業を実施してまいります。研究活動では、重点課題研究や障害種別特定研究等を通じて、特別支援教育の当面する課題の解決に取り組めます。また、研修事業としては、コロナ禍の中、来所型とオンライン型の両方を取り入れた研修の在り方を検討し、試行します。これらの成果については、セミナーやSNSなどを通じて、関係者への普及を図ります。今年度も、関係の皆様のご理解とご支援をお願いいたします。

令和4年4月

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 (NISE) 理事長 宍戸 和 成

沿革

昭和46年10月 国の所轄機関として国立特殊教育総合研究所設置

平成13年 4月 独立行政法人化 (主務大臣：文部科学大臣)

平成19年 4月 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所に名称変更

平成20年 4月 発達障害教育情報センター設置

平成28年 4月 インクルーシブ教育システム推進センター設置

平成29年 4月 発達障害教育推進センター設置 (発達障害教育情報センターの機能拡充)

令和 3年 4月～令和8年3月

第5期中期目標期間 (令和4年度は第5期中期目標期間の2年目)

令和 3年10月 創立50周年

役員・職員数

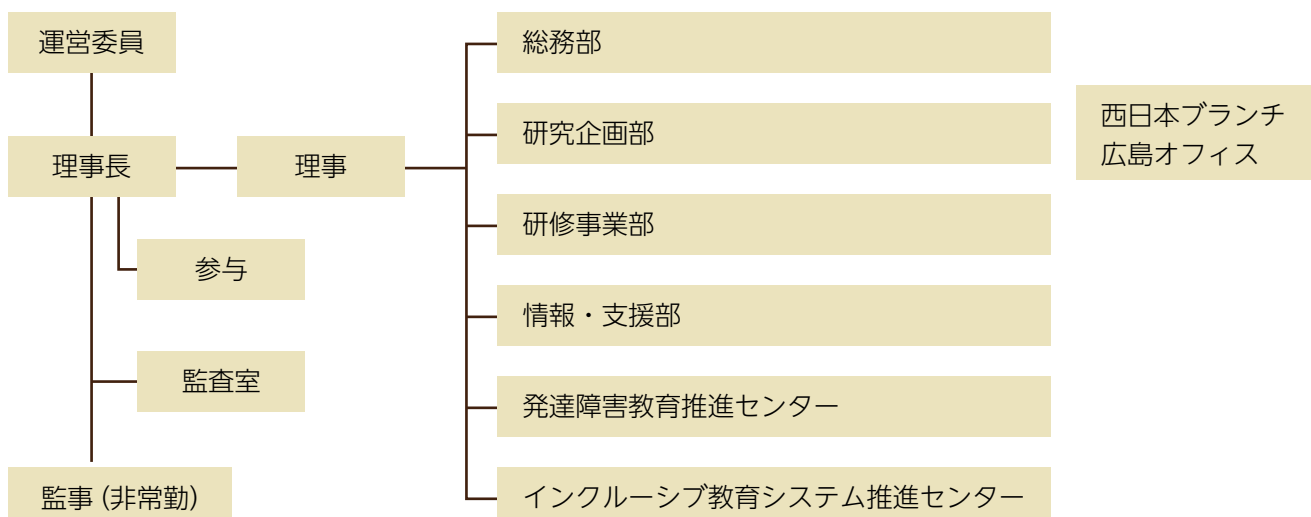
合 計	71 (3)
役 員	2 (2)
研 究 職	36 (1)
一 般 職	33

R4.4.1現在
() 内は非常勤で外数

令和4年度の財政規模

区分	金額 (千円)
運営費交付金	1,084,169
施設整備費補助金	79,215

組織



特別支援教育とは

- ・障害のある幼児児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うものです。
- ・従来の特殊教育が対象としていた障害だけではなく、知的な遅れのない発達障害も含めて、特別な支援を必要とする幼児児童生徒が在籍する全ての学校において実施されるものです。
- ・障害のある幼児児童生徒への教育にとどまらず、障害の有無やその他の個々の違いを認識しつつ様々な人々が生き生きと活躍できる「共生社会」の形成の基礎となるものです。

(詳しくは、「特別支援教育の推進について」(平成19年4月1日付け文部科学省初等中等教育局長通知)をご覧ください。)

インクルーシブ教育システムとは

- ・障害者の権利に関する条約第24条によれば、人間の多様性の尊重等の強化、障害者が精神的及び身体的な能力等を可能な最大限度まで発達させ、自由な社会に効果的に参加することを可能とするとの目的の下、障害のある者と障害のない者が共に学ぶ仕組みのことで。
- ・「共生社会」の形成に向けて、上記の条約に基づくインクルーシブ教育システムの理念が重要であり、その構築のため、特別支援教育を着実に進めていく必要があります。
- ・インクルーシブ教育システムにおいては、同じ場で共に学ぶことを追求するとともに、個別の教育的ニーズのある幼児児童生徒に対して、自立と社会参加を見据えて、その時点で教育的ニーズに最も的確に応える指導を提供できる、多様で柔軟な仕組みを整備することが重要です。通常の学級、通級による指導、特別支援学級、特別支援学校といった、連続性のある「多様な学びの場」を用意しておくことが必要です。

(詳しくは、「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進」
(平成24年7月23日中央教育審議会初等中等教育分科会報告)をご覧ください。)

研究所の活動(第5期中期目標より)

ミッション(使命)

我が国唯一の特別支援教育のナショナルセンターとして、インクルーシブ教育システムの構築に向けて、国や地方公共団体、関係機関等と連携・協力しつつ、教育実践を研究するフィールドを有し、実践的な研究と研修を一体的に行うことができる法人の強みを生かしながら、特別支援教育を取り巻く国内外の情勢の変化も踏まえた国の政策課題や教育現場の課題に柔軟かつ迅速に対応する業務運営を行い、もって障害のある子供一人一人の教育的ニーズに対応した教育の実現に貢献することをミッション(使命)とする。

ミッションを達成するための取組

- ・特別支援教育に係る实际的・総合的研究の推進による国の政策立案・施策推進等への寄与及び教育現場への貢献
- ・各都道府県等における特別支援教育政策や教育実践等の推進に寄与する指導者の養成
- ・特別支援教育に関する情報普及の充実や自治体・学校への支援

研究活動

国の政策課題や教育現場の課題に対応した研究の推進

障害種の枠を超えて、国の特別支援教育の推進や教育現場等の喫緊の課題解決に寄与する「重点課題研究」と、各障害種における、喫緊の課題の解決に寄与する「障害種別特定研究」、合わせて毎年度概ね5～7課題を実施します。

また、重点課題研究や障害種別特定研究を支える研究所の基盤的な活動として、障害種別に組織する研究班や、社会的背景等から必要なテーマ別研究班を設置し、関係団体との連携を図りながら基礎的研究活動を行い、その成果を重点課題研究や国の政策立案等に生かしていきます。

●重点課題研究（令和4年度に実施する研究課題）

- (1) 教育課程に関する研究(国への政策貢献)
 - ・学習指導要領に基づく教育課程の編成・実施・評価・改善に関する研究
- (2) 切れ目ない支援の充実にに関する研究(教育現場等の喫緊の課題に対応)
 - ・障害のある子どもの就学先決定の手続きに関する研究
 - ・高等学校における障害のある生徒の社会への円滑な移行に向けた進路指導と連携の進め方等に関する研究
 - ・ICT等を活用した障害のある児童生徒の指導・支援に関する研究
 - ・通常の学級における多様な教育的ニーズのある児童生徒の教科指導上の配慮に関する研究

●障害種別特定研究（令和4年度に実施する研究課題）

- ・知的障害教育における授業づくりと学習評価に関する研究

●その他の研究

○基礎的研究活動

テーマ別研究班及び障害種別専門分野の課題に対応する研究班における基盤的な研究

○外部資金研究、受託研究

科学研究費助成金等の外部資金を獲得して行う研究、外部からの委託を受けて行う研究

研究成果

研究の成果は、「研究成果報告書」やその要旨をまとめた「研究成果報告書サマリー集」「リーフレット」等としてNISEのウェブサイトにおいて公開しています。また、ガイドブックの作成、セミナーの開催等により教育現場等への普及を図っています。

最新の刊行物・研究成果物等（一部）

定期刊行物 ・ 研究成果 報告書	国立特別支援教育総合研究所ジャーナル 第11号 令和4年4月
	国立特別支援教育総合研究所研究紀要 第49巻 令和4年3月
	研究成果報告書サマリー集(令和2年度終了課題) 令和3年6月
	我が国におけるインクルーシブ教育システムの構築に関する総合的研究 ー地域と学校での主体的取組を支援する「インクルCOMPASS」の提案ー 令和3年3月
	特別支援教育における教育課程に関する総合的研究 ー新学習指導要領に基づく教育課程の編成・実施に向けた現状と課題ー 令和3年3月
	聴覚障害教育におけるセンターの機能の充実にに関する研究 ー乳幼児を対象とした地域連携ー 令和3年3月
	知的障害特別支援学級担当者サポートキットの開発 ー授業づくりを中心にー 令和3年3月
	小・中学校における肢体不自由のある児童生徒への指導及び支援のための地域資源を活用した 授業改善に関する研究 令和3年3月
	社会とのつながりを意識した発達障害等への専門性のある支援に関する研究 ー二次的な障害の予防・低減に向けた通級による指導等の在り方に焦点を当ててー 令和3年3月
	インクルーシブ教育システムの理解啓発の推進に関する研究 令和3年3月
書 籍	交流及び共同学習の充実にに関する研究 令和3年3月
	特別支援教育の基礎・基本 2020 (株)ギアース教育新社, ISBN978-4-86371-548-6 令和2年6月
	特別支援学級での自閉症のある子どもの自立活動の指導 ー確かに育つ！子ども、確かに高まる！教師の指導力ー (株)ギアース教育新社, ISBN978-4-86371-575-2 令和3年3月
	ここにヒントがある！インクルーシブ教育システムを進める10の実践 ー「インクルCOMPASS」で強みや課題をみつけようー (株)ギアース教育新社, ISBN978-4-86371-574-5 令和3年3月
リーフレット・ ガイドブック・ 事例集等	知的障害特別支援学級の授業づくり『すけっと』が助けます！ 令和3年7月
	病気療養等により支援が必要な児童生徒のための遠隔教育Q&A 令和3年7月
	インクルーシブ教育システムの推進を目指す特別支援学級の教育課程編成・実施ガイドブック ー知的障害および自閉症・情緒障害特別支援学級を中心にー 令和3年3月



▶▶ 詳しくはこちら：<https://www.nise.go.jp/nc/study>

研修事業

都道府県等において指導的役割を果たす教職員を対象とした研修の実施

都道府県等における特別支援教育の指導的な役割を果たす教職員を対象とし、特別支援教育専門研修（視覚障害・聴覚障害・肢体不自由・病弱教育コース、知的障害教育コース、発達障害・情緒障害・言語障害教育コース：約2か月、計210名程度、オンラインと来所の組合せ）や、インクルーシブ教育システムの充実に関わる指導者研究協議会（ICT活用、高校通級：各2日、オンラインと来所の組合せ、交流及び共同学習：1日、オンライン、計210名程度）及び発達障害教育実践セミナー（1日、70名程度、オンライン）を実施し、各都道府県等の指導者の養成を図っています。この他、全国特別支援学校長会との連携研修（特別支援学校寄宿舎指導実践協議会：1日、50名程度、オンライン）や難聴児に関わる地区別研究協議会を実施しています。



特別支援教育専門研修（来所）（平成30年撮影）



特別支援教育専門研修（オンライン）（令和3年撮影）

インターネットによる講義配信「NISE学びラボ～特別支援教育eラーニング～」

障害のある児童生徒等の教育に携わる教員をはじめ、幅広い教員の資質向上の取組を支援するため、特別支援教育に関する講義を収録し、インターネットにより、学校教育関係者等へ配信しています。個人登録を行うことによって、およそ170の講義がパソコンやタブレット端末、スマートフォン等で、誰でも無料で視聴できます。目的に応じて系統的に学べるように、例えば、「特別支援学級（知的障害）の担任になったら」のような「研修プログラム」を提案しています。また、団体登録を行った教育委員会や学校等は、受講者のニーズに合わせて、いくつかの講義を組み合わせるなど、オリジナルの研修プログラムを設定し、教職員等の研修に活用することができます。



講義配信の視聴画面

▶▶ 詳しくはこちら：

https://www.nise.go.jp/nc/training_seminar/online



免許法認定通信教育総合情報サイト

免許法認定通信教育の実施

特別支援学校教諭免許状取得率の向上のため、特に保有率の低い視覚障害教育領域及び聴覚障害教育領域の講義について、インターネットを利用した「免許法認定通信教育」を実施しています。

▶▶ 詳しくはこちら：

<http://forum.nise.go.jp/tsushin/>



情報普及活動

ウェブによる情報発信

NISEのウェブサイトや「特総研ジャーナル」、メールマガジンの発行等を通じて研究成果や特別支援教育全般に関する情報を総合的に提供しています。また、障害の状態や特性等に応じた教材、支援機器や実践事例等の情報を発信する「特別支援教育教材ポータルサイト（支援教材ポータル）」や発達障害教育に関する最新情報を国民に幅広く提供し、理解啓発を推進するとともに、発達障害のある子供の教育に関する基本的な知識と指導・支援に関する情報を発信する「発達障害教育推進センター WEBサイト」を運用しています。

さらに、発達障害のあるご本人やご家族に向けた情報を中心に、その方々の暮らしを支える教育、医療、保健、福祉、労働の各分野の情報を発信する国のサイト「発達障害ナビポータル」を国立障害者リハビリテーションセンター発達障害情報・支援センターと共同で運営しています。

- ▶▶▶ 特別支援教育教材ポータルサイト：<http://kyozai.nise.go.jp/>
- ▶▶▶ 発達障害教育推進センター WEBサイト：<http://cpedd.nise.go.jp/>
- ▶▶▶ 発達障害ナビポータル：<https://hattatsu.go.jp/>



支援教材ポータル



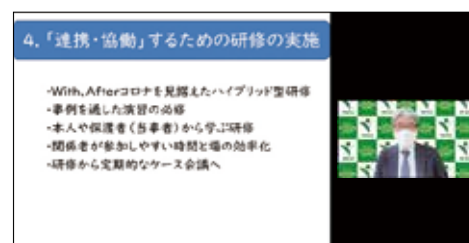
発達障害教育推進センター
WEBサイト



発達障害ナビポータル

発達障害教育に関する理解啓発と実践的な指導力向上のための情報提供

発達障害教育に関する研究成果の普及や自治体における研修の支援等を通じて、自治体との連携や教育現場の実践的な指導力の向上を図っています。



発達障害教育実践セミナー（オンライン）
（令和3年度）

シンポジウム・セミナーの開催

研究成果の普及促進や教育現場等との特別支援教育に関する情報共有を図るため、「研究所セミナー」を毎年度開催しています。また、世界自閉症啓発デーに関連したイベントを、関係団体と共に毎年度開催しています。さらに、NISEの活動をより身近なものとしていただくため、「研究所公開」を開催しています。

特別支援教育推進セミナー

全国を地区ブロックに分け、ブロック内の特別支援教育の理解啓発を図るために、令和3年度から特別支援教育推進セミナーを年間3回開催しています。各関係団体等と連携しながら、特別支援教育等に関する有益な情報を提供するとともに、ブロック内の交流促進や関係構築を図っています。



特別支援教育推進セミナー
オンライン配信の様子

インクルーシブ教育システム構築のための 自治体や学校等への支援と国際事業

地域支援事業

令和3年度から、教育委員会と研究所が連携して地域のインクルーシブ教育システム構築を推進する事業である「地域支援事業」を実施しています。

今年度は全国から13の県市町に参画いただいています。インクルーシブ教育システムの理解啓発の取組、地域の支援体制の構築、校内研修の推進など、研究所と協働し、それぞれの県市町の課題や目的に応じた事業に取り組んでいます。事業の成果は、各県市町において報告会等を実施して普及する他、事業報告書をNISEのウェブサイトに掲載するなどして普及します。



オンラインでの情報交換の様子



インクルDBのウェブサイト

インクルーシブ教育システム構築を支援する データベース（インクルDB）の運用

インクルDBは、子どもの実態から、どのような基礎的環境整備や合理的配慮が有効かについて、参考となる事例を紹介しています。また、法令・通知・用語等や、学校における遠隔授業や動画配信、新型コロナウイルス感染症予防の取組等、様々な関連情報を掲載しています。

【主な内容】

- ・「合理的配慮」実践事例（令和4年3月末現在590事例掲載）
- ・関連する法令・施策
- ・関係用語の解説
- ・インクルーシブ教育システム構築に関するQ & A 等

▶▶▶ 詳しくはこちら：<http://inclusive.nise.go.jp/>
詳細な情報をダウンロードできます。



国際動向の把握や海外との研究交流

諸外国のインクルーシブ教育システム構築に関する最新動向や取組を計画的に収集し、国内との比較・検討など参考になる情報をNISEのウェブサイト等で公表しています。

韓国国立特殊教育院と日韓特別支援教育協議会を開催する等、海外の特別支援教育の研究機関との交流を図ります。

また、海外からの視察・研修を受け入れ、我が国の教育制度等についての情報提供を行っています。



韓国国立特殊教育院との日韓特別支援教育協議会の様子

体育施設のご利用案内

体育館やフットサルコートをご利用いただけます。

＜ご利用可能時間＞

体育館：9時～19時

フットサルコート：9時～17時

土曜・日曜・祝祭日も

ご利用いただけます。



▶▶ 詳しくはこちら：

https://www.nise.go.jp/nc/physical_education



* 令和4年4月現在、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、貸出しを中止しています。
最新の情報はウェブサイトでお知らせします。

寄附のお願い

NISEの業務は、主として国からの運営費交付金等によって活動しておりますが、障害のある子供の教育のより一層の振興を図るため、広く皆様方からの寄附を受け入れています。

▶▶ 詳しくはこちら：<https://www.nise.go.jp/nc/fund>



交通案内

京浜急行電鉄ご利用の場合

京急久里浜駅下車

▶ [久3]系統・久里浜医療センター行で約15分、
国立特別支援教育総合研究所下車すぐ

▶ [久8]系統・野比海岸行で約20分、終点下車300m
又はタクシー約8分

YRP野比駅下車

▶ 徒歩20分、又はタクシー約5分

JR横須賀線ご利用の場合

久里浜駅下車

▶ [久8]系統・野比海岸行で約15分、終点下車300m
又はタクシー約10分



 独立行政法人
国立特別支援教育総合研究所
NISE National Institute of Special Needs Education

〒239-8585 神奈川県横須賀市野比5-1-1

TEL：046-839-6803 FAX：046-839-6918 (総務部総務企画課)

URL <https://www.nise.go.jp/nc/>



このパンフレットで紹介した研究成果報告書、NISE学びラボ、特総研ジャーナル、メールマガジン、発達障害教育推進センターWEBサイト、研究所公開、研究所セミナー、インクルDBなどの詳しい内容は、**NISE**でまとめて検索できます！



再生紙を使用しています

令和4年4月